

## 平成 2 2 年度第 7 回鳥取市生活交通会議議事録（要旨）

- 1 . 日 時 平成23年3月25日（金） 10：00～11：30  
2 . 場 所 鳥取市役所 本庁舎6階 第1会議室



### 3 . 出席者

会 長	谷 本 圭 志	鳥取大学大学院 教授
副会長	田 中 政 幸	都市整備部長
委 員	中 川 浩 作	鳥取市小学校 P T A 連合会
	谷 村 萬 吉	鳥取市市自治会連合会（河原町,用瀬町,佐治町）
	前 田 豊	鳥取市老人クラブ連合会（旧鳥取市,国府町,福部町）
	田 淵 丹 次	鳥取市老人クラブ連合会（河原町,用瀬町,佐治町）
	油 谷 都々江	鳥取市連合婦人会
	中 村 芳 晴	日ノ丸自動車株式会社 取締役営業部長
	中 嶋 敬 治	日本交通株式会社 バス営業部次長
	三 谷 宏 志	西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長
	橋 本 貞 治	鳥取県ハイヤータクシー協会東部支部長
	村 上 恵	私鉄中国地方労働組合 日ノ丸自動車支部 執行委員長
	高 田 修	鳥取運輸支局 首席運輸企画専門官 丹下力俊氏 代理
	樋 口 敬	鳥取警察署 交通第一課長
事務局	鳥取市都市整備部交通政策室（中村、鈴木、伊藤、澤田、遠藤）	
その他	株式会社バイタルリード（森山、神田）	

### 4 . 次 第

#### 1 ) 開会

#### 2 ) 会長あいさつ

#### 3 ) 協議事項

【案件 1】鳥取市バス路線網再編実施計画の策定について

【案件 2】南部地域新総合公共交通計画策定方針（案）について

#### 4 ) 報告事項

##### 【報告事項 1】

平成 2 2 年度地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価（二次評価）の結果について

##### 【報告事項 2】

鳥取市地域公共交通総合連携改革の実施状況について

##### 【報告事項 3】

地域公共交通確保維持改善事業について（国土交通省資料）

#### 5 ) その他

## 5. 議 事

### 【案件1】鳥取市バス路線網再編実施計画の策定について説明（事務局）

- ・鳥取市バス路線網再編実施計画（案）の市民政策コメントの結果説明（案件1資料）
- ・市民政策コメントを踏まえた再編実施計画（案）の一部修正説明（案件1資料）

谷本会長 通勤に利用してもらうのがこの計画のポイントである。全日空のビジネスリピーターやJRの団体割引など大口割引のようなものがバスにもあると思うが、そうした取り組みはどうなっているのか。

中嶋委員 鳥取県では各事業所において自家用車通勤を公共交通での通勤に変えた場合、補助を行っている。バス会社としては、そうした事業所に対しての大口割引のようなものは実施していないのが現状である。

谷本会長 今すぐどうこうではなく、少し機運が見えたところで事業者としての提案をいただきたい。

事務局 市役所へクルマで通勤する場合、駐車場を近隣で借りる必要がある。市役所に近いところでは10,000円程度かかり、通勤手当の対象にはならない。公共交通を利用することの通勤経費面での優位性等もPRしていきたい。

中嶋委員 市役所や市役所周辺はよいが、郊外の事業所の場合は難しいのが現状である。

谷本会長 全部を困うのではなく、できるところから検討していく必要があると思う。例えば何人乗れば何パーセント安くしますといったメニューを作ることもそのひとつと思う。

中村委員 以前、グッドヒルと契約して、グッドヒル用の通勤ダイヤを組んでバスを運行していた。こうした経験を思い起こし、取り組んでいく必要があると思う。

谷本会長 意見の計画への反映に方法について問題はないか。

なければ、鳥取市バス路線網再編実施計画を本会議として承認とする。

### 【案件2】南部地域新総合公共交通計画策定方針（案）説明（事務局）

谷村委員 佐治線の場合、かなり奥が深いので図面の路線はもっと延びるはずである。また、佐治線の場合、区域運行となるが、そのイメージを提示しないと住民の理解は難しいと思う。そうした資料は予定しているのか。原案などあるのか。

事務局 導入車両、運賃等をこれから検討していく。

谷村委員 具体的な提案資料をつくって住民説明会に臨んでいただきたい。

谷本会長 住民が比較検討して選ぶことができるように複数の案を準備していただきたい。単なる住民説明会にならないようにしていただきたい。

谷村委員 24年度からの実施に向けて住民の意見をこの1年でまとめる必要があるため、住民自身が判断できる材料をもって臨んでほしい。

谷本会長 ワーキンググループとはどのようなものか。

事務局 事業者との協議をワーキンググループとし、地域は意見交換会としている。

谷本会長 意見交換会は、行政が仕切るのではなく、地域住民の意見を吸い上げる場とし

てほしい。

橋本委員 タクシー事業者へ河原のいなばタクシーの事例など情報提供してもらえると、事業者が今後の取り組みを検討していく上で参考となるが、そうした情報の提供は可能か。

事務局 提供できる。

橋本委員 バスの運行が難しい地域では、タクシーの利用価値を考えていただきたい。また、タクシーは所得の高い人が利用するとうイメージを持っている人が行政の中にもいるが、今は高齢者の乗り物であり、認識をかえてほしい。

谷本会長 計画を進めていく上でバスとタクシーの境界をできるだけなくして取り組んでいく必要があるが、事業者としてはどのように考えているのか。バス事業者とタクシー事業者間の話し合いは進んでいるのか。

中嶋委員 事業者間の話し合いはまだしていない。

中村委員 今年の冬の大雪では、バスの回し場の除雪がしてもらえず大変困った。バス路線のルートを検討に当たっては、方向転換場所の確保を考えてほしい。

谷本会長 他に意見等なければ、方針（案）は承認でよいか。 承認

#### 4．報告事項

平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価（二次評価）の結果について（事務局）

鳥取市地域公共交通総合連携計画の実施状況について

地域公共交通確保維持改善事業について（国土交通省資料）

谷本会長 高齢者のバス優待制度の結果報告はあるのか。

事務局 次回報告する。

谷本会長 バス利用実態調査に合わせて、バスが運行していない地域の状況等の調査もあったほうがよい。

#### 5．その他

田中副会長退任挨拶

中村室長転任挨拶